

- 問1 西アジアにおける近年の生活や産業の様子について説明した次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 石油資源の採掘を制限しており、現在も伝統的な遊牧による生活が国民の大部分を占めている。
  2. 石油によって得た資金をもとに、砂漠の中に近代的な都市が建設され、人々の生活水準が向上している。
  3. 季節風の影響で雨季と乾季がはっきりと分かれるため、雨季の降水を利用した稲作が砂漠地帯の各地で盛んに行われている。
  4. 豊かな水資源を求めて、人々は川の上に水上集落を作って生活しており、高層ビルの建設はほとんど見られない。
- 問2 インドネシアの産業構造と資源について、統計的なデータから読み取れる特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 第3次産業が就業人口の8割を占める先進国型の構造で、石炭などのエネルギー資源は輸入している。
  2. 高度な工業化によって第1次産業の就業人口は1割未満であり、石炭は主に国内で消費される。
  3. 広大な土地を利用した鉄鉱石の採掘が中心であり、石炭の産出量は世界的に見ても少ない。
  4. 就業人口の3割以上が第1次産業に従事しており、産出した石炭の多くを輸出に回している。
- 問3 中国では1970年代後半から、海外の資本や技術を導入して経済を活性化させる「改革・開放政策」がとられました。この政策の展開と、その結果生じた国内の状況について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 韓国やシンガポールとともに「アジアニーズ (NIES)」として全土で一斉に工業化したため、特定の地域に偏らない経済発展を実現した。
  2. タイやマレーシアと同様に、政府が内陸部への外国企業誘致を優先したため、沿岸部よりも内陸部の所得水準が高くなった。
  3. 経済特区が設置された沿岸部で急速に工業化が進んだ一方、開発の遅れた内陸部との間で大きな経済格差が生じ、社会問題となった。
  4. バンガロールなどの内陸都市を中心にIT産業が急成長したことで、沿岸部の伝統的な工業地帯との格差がほぼ解消された。
- 問4 ユーラシア大陸の東部に位置し、東は太平洋に面する広大な国土を持つ国には、世界文化遺産にも登録されている「万里の長城」があります。この建造物の特徴や役割について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 歴代の皇帝の墓として、巨大な石を積み上げて築かれた
  2. 北方の遊牧民の侵入を防ぐために築かれた
  3. キリスト教の布教の拠点として、各地を結ぶ道路沿いに築かれた
  4. 神を祀る神殿として、都市の最も高い丘の上に築かれた
- 問5 マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン の4か国における2000年から2018年までの統計を見ると、いずれの国も人口が増加傾向にあり、1人当たりの国民総所得 (GNI) も大きく伸びています。このような経済発展を背景に、近年この地域の組織が行っている取り組みの説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 先進国のみで構成される組織として、発展途上国に対する一方的な経済援助を行う仕組みを整えている。
  2. 域内のすべての国で共通通貨を導入し、中央銀行を一つに統合することで経済の安定を図っている。
  3. 域内での関税を原則として撤廃し、人・モノ・サービスが自由に移動できる共同体の構築を進めている。
  4. 他地域からの安価な工業製品の輸入を制限するため、加盟国全体で高い共通関税を課している。
- 問6 インド東部のガンジス川下流域などの熱帯地域では、年平均気温が約27度と高く、特に6月から9月にかけての時期に月間降水量が400mmを超える顕著な雨季が見られます。このような気候環境を活かして栽培され、繊維が穀物を入れる袋などに加工される農作物を次から選びなさい。 (2025年 東京都公立入試 類似)
1. 綿花
  2. ジュート (黄麻)
  3. 茶
  4. コーヒー
- 問7 中国南部の沿海部において、海外への窓口として経済特区に指定された地域や都市の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2026年 鹿児島県公立入試 類似)
1. ペキン (北京)、シャンハイ (上海)、テンシン (天津)、チョンチン (重慶)
  2. ホンコン (香港)、マカオ (門)、台湾
  3. チベット自治区、シンチャンウイグル自治区、ナイモンゴル (内モンゴル) 自治区
  4. シェンチェン (深セン)、チューハイ (珠海)、スフトウ (汕頭)、アモイ (廈門)、ハイナン (海南) 省
- 問8 ロシア、サウジアラビア、アメリカ合衆国などが主な産出国となっている鉱産資源について、その特徴や歴史的背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
1. 産業革命を支えた主要な動力源であり、主に古期造山帯の周辺で多く産出される固体の燃料である。
  2. 20世紀後半に石炭に代わって主要なエネルギー源となり、火力発電の燃料や自動車の動力などに多用されている。
  3. 燃焼時の二酸化炭素排出量が他の化石燃料に比べて極めて多いため、近年は世界的に利用が禁止されている。
  4. 鉄鋼業の重要な原料として利用されており、主な産出国はオーストラリアやブラジルである。
- 問9 2001年のベトナムにおける輸出統計において、輸出総額の12.0%を占めて第3位にランクインしていた、エビなどの加工品を含む品目として正しいものを次から選びなさい。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
1. 鉄鋼
  2. 機械類
  3. 魚介類
  4. 石炭
- 問10 西アジアなどの資源産出国において、輸出総額に占める原油の割合が極めて高い状態にある国の経済的特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
1. 特定の一次産品への経済依存度が高く、国際価格の下落が国内経済に大きな打撃を与えやすい。
  2. 工業化が高度に進展しており、原油価格が変動しても工業製品の輸出で安定した収益を確保できる。
  3. 輸出先が多岐にわたるため、特定の品目の割合が高くても経済の安定性が非常に高い。
  4. 自国内で全ての経済活動が完結しているため、世界の景気変動による影響をほとんど受けない。
- 問11 西アジアのアラビア半島に位置し、広大な国土に世界有数の油田を保有している国があります。この国は日本のエネルギー政策において極めて重要であり、日本の原油輸入先として最大の割合を占めていますが、その国名を次の中から選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. サウジアラビア
  2. メキシコ
  3. ブラジル
  4. アラブ首長国連邦
- 問12 東南アジアにおける宗教の広がりについて、インドネシアやマレーシアなど、主に南側の島々 (島嶼部) で最も多くの人々が信仰している宗教はどれか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
1. イスラム教
  2. ヒンドゥー教
  3. キリスト教
  4. 仏教
- 問13 中国の深圳 (シェンチェン) や廈門 (アモイ) といった沿海部の都市に設けられ、税制の優遇措置などを通じて外国の資本や技術を積極的に受け入れている地域を何といいますか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 特別行政区
  2. 経済特区
  3. 経済開発区
  4. 民族自治区

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 2<br>石油によって得た資金をもとに、砂漠の中に近代的な都市が建設され、人々の生活水準が向上している。              | 西アジアの産油国では、乾燥した砂漠という厳しい自然条件を克服するために、石油の輸出利益を社会資本の整備に充ててきました。海水淡水化プラントの建設による生活用水の確保や、大規模なショッピングモールの建設などにより、都市部を中心に人々の生活は非常に豊かになっています。選択肢にある「雨季と乾季の交代」や「水上集落」は、主に東南アジアの熱帯モンスーン気候や熱帯雨林気候で見られる特徴であり、乾燥帯が広がる西アジアには当てはまりません。                      |
| 問2  | 答え 4<br>就業人口の3割以上が第1次産業に従事しており、産出した石炭の多くを輸出に回している。                   | インドネシアの産業構造は、第1次産業の就業人口割合が約34.3%と依然として高く、これは発展途上国から新興工業経済地域（NIES）やASEAN諸国に見られる典型的な特徴です。資源面では、石炭の産出量（約43.5万千t）に対し、輸出量（約41.0万千t）が極めて近い数値を示しており、国内での火力発電や工業利用よりも、国際市場への供給地としての側面が強いことを示しています。ブラジルは鉄鉱石、南アフリカは金やプラチナなどが主要な資源となるため、資源の種類でも区別できます。 |
| 問3  | 答え 3<br>経済特区が設置された沿岸部で急速に工業化が進んだ一方、開発の遅れた内陸部との間で大きな経済格差が生じ、社会問題となった。 | 中国は広大な国土を持つため、まずは貿易に有利なシェンチェン（深セン）などの沿岸部に「経済特区」を設けて重点的に開発を行いました。この「先行して豊かになれる地域から発展させる」という方針により沿岸部は飛躍的に成長しましたが、農業が中心であった内陸部との間に所得やインフラの面で深刻な経済格差が生まれることとなりました。他の選択肢にあるIT産業の急成長はインドの特徴であり、アジアニーズ（NIES）に中国は含まれません。                            |
| 問4  | 答え 2<br>北方の遊牧民の侵入を防ぐために築かれた                                          | 万里の長城は、中国の北側の国境沿いに建設された大規模な防衛施設です。山々の尾根などに沿って延々と続くこの壁は、外敵の侵入を監視し、防ぐ役割を果たしていました。選択肢にある「皇帝の墓」はエジプトのピラミッドなどの特徴であり、万里の長城は軍事的な防衛ラインとしての性格を持っています。現在残っているものの多くは、明の時代にレンガなどで強固に築かれたものです。                                                           |
| 問5  | 答え 3<br>域内での関税を原則として撤廃し、人・モノ・サービスが自由に移動できる共同体の構築を進めている。              | 21世紀に入り東南アジア諸国は「世界の成長センター」と呼ばれるほどの経済成長を遂げました。これを受けて東南アジア諸国連合（ASEAN）は、2015年に「ASEAN経済共同体（AEC）」を発足させました。これは、域内の関税をなくすことで一つの巨大な市場を作り出し、中国やインドといった近隣の大国に対抗できる経済競争力を持つことを目的としています。共通通貨の導入（EUのような仕組み）までは至っていません。                                   |
| 問6  | 答え 2<br>ジュート（黄麻）                                                     | インドのガンジス川デルタ周辺は、高温多湿な気候であり、特に夏季の降水量が非常に多いのが特徴です。この環境はジュート（黄麻）の栽培に非常に適しており、バングラデシュからインド東部にかけての世界的な生産地となっています。採取された繊維は、丈夫な性質を活かして穀物や砂糖を運ぶための袋（ヘッシャン袋）などに利用されます。                                                                               |
| 問7  | 答え 4<br>シェンチェン（深セン）、チューハイ（珠海）、スワトウ（汕頭）、アモイ（廈門）、ハイナン（海南）省             | 経済特区は、地理的に東南アジアに近く、海外との交流や海上輸送に便利な中国南部の沿海部に集中して設置されました。具体的にはシェンチェン、チューハイ、スワトウ、アモイの4都市に、後に省全体が指定されたハイナン島を加えた地域が、初期の経済成長を牽引する拠点となりました。                                                                                                        |
| 問8  | 答え 2<br>20世紀後半に石炭に代わって主要なエネルギー源となり、火力発電の燃料や自動車の動力などに多用されている。         | この資源はロシアやサウジアラビアといった特定の地域に埋蔵が偏っているのが特徴です。1960年代のエネルギー革命によって、石炭に代わって世界の経済活動を支える中心的なエネルギー源となりました。また、エネルギーとしての利用だけでなく、衣服の繊維やプラスチック容器などの化学工業製品の原料としても欠かせない存在です。                                                                                 |
| 問9  | 答え 3<br>魚介類                                                          | ベトナムでは、2000年代初頭から豊かな水産資源や長い海岸線を活かした養殖業が盛んになり、エビを中心とした加工品の輸出が主要な外貨獲得源となりました。2001年当時の統計では、原油や衣類に次ぐ主要な輸出項目となっており、日本などへも多く輸出されています。                                                                                                             |
| 問10 | 答え 1<br>特定の一次産品への経済依存度が高く、国際価格の下落が国内経済に大きな打撃を与えやすい。                  | 輸出総額に占める原油の割合は、その国の経済がどれだけ特定の資源に頼っているかを示す指標です。原油のような一次産品は、国際情勢や需要の変化によって価格が激しく変動するため、依存度が高い国では自国の努力とは別に、国際価格の下落が国家財政や国民生活に深刻な影響を及ぼすというリスクを抱えています。                                                                                           |
| 問11 | 答え 1<br>サウジアラビア                                                      | 西アジアのアラビア半島に位置するサウジアラビアは、世界最大級の石油埋蔵量を誇る産油国です。日本はエネルギー資源の多くを海外からの輸入に頼っていますが、なかでもサウジアラビアは長年にわたり日本の最大の原油供給国となっており、日本の経済や市民生活を支える上で欠かせない存在です。                                                                                                   |
| 問12 | 答え 1<br>イスラム教                                                        | インドネシアやマレーシアでは、中世以降に海上交易を通じて伝わったイスラム教が広く信仰されています。特にインドネシアは世界で最もイスラム教徒の人口が多い国として知られています。なお、同じインドネシア国内でも観光地として有名なバリ島では、例外的にヒンドゥー教が信仰されています。                                                                                                   |
| 問13 | 答え 2<br>経済特区                                                         | 1970年代末から始まった「改革・開放」政策の一環として、中国が特定の地域に設けた制度です。地理的に輸出入に便利な沿海部を指定することで、海外企業が工場を建てたり投資をしたりしやすい環境を整え、中国の急速な経済発展のきっかけとなりました。                                                                                                                     |